

平成19年1月14日（日）

「社会的ひきこもり」市民講座を開催します！

～事例からひきこもりを考える～

ひきこもり経験者および家族が、それぞれの立場から思いを語ります

「ひきこもり」と一口に言ってもその状況は様々です。今回の講座では、ひきこもり経験者および現在、ひきこもりの子をもつ家族（親）の立場からそれぞれの思いを語ります。さらに、思春期青年期の問題に詳しい講師との対談を聞いていただき、「ひきこもり」に関する理解を深めますので、ぜひ、取材にお越しください。

なお、取材の際は当日受付にお立ち寄りください。

※ 会場の写真撮影については、個人のプライバシーに配慮した対応をお願いいたします。

講師紹介：伊藤順一郎氏 [国立精神・神経センター精神保健研究所 社会復帰相談部長 精神科医]

心理教育、家族療法、思春期問題などに詳しく、ひきこもり支援のパイオニアで、厚生労働省「ひきこもり研究班」の主任研究者として、『10代・20代を中心とした「ひきこもり」をめぐる地域精神保健活動のガイドライン（通称、「ひきこもり」対応ガイドライン）』をとりまとめた。

講座の特徴

1 ひきこもっている本人だけでなく、家族も当事者の立場で、思いをお伝えします。
家族（親）の立場から思いを伝える講座は少なく、親の気持ちを知ることができます。

2 スモールグループによる話し合いを行います。
参加者が5～6名程度のグループに分かれて、意見や感想などを語り合い、「ひきこもり」についての理解を深めていただきます。また、当事者本人や悩みを抱えている家族の方の孤独感の軽減や安心感が得られることを期待しています。

●講座の概要

〔日時〕平成19年1月14日（日）午後1時から4時30分まで（開場12時30分）

〔場所〕横浜市技能文化会館・2階多目的ホール *中区万代町2-4-7

〔定員〕200名（事前申し込みで先着順、受付は平成19年1月12日までとなります。）

〔主催〕横浜市、青少年相談センター父母会

〔協力〕ひきこもり関係支援団体

〔その他〕入場無料 青少年相談センター利用者の作品展示、ひきこもり関係支援団体の案内コーナーも開設

●当日スケジュール

13:00	開会
13:10	講師自己紹介（ミニ講演）
13:25	当事者（本人、ひきこもりの子をもつ父、母）の話
14:10	当事者と講師の対談
14:40	質疑応答
15:15	スモールグループによる話し合い
15:45	全体のディスカッション
16:15	講師によるまとめ
16:30	終了